

平成19年度 事務事業評価表	担当	上下水道部 下水道浄化センター	内線等	67-7125
事務事業名	海陽ポンプ場維持管理事業		事業コード	4. 維持管理事業
根拠法令等	蒲郡市下水道条例第2条		B 条例	C 規則

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	下水道
------	--------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	海陽町地内処理区に居住する住民に対して、
手 段	中継ポンプ場施設を適正に維持管理して、
想定する成果	豊川流域下水道への汚水の円滑な送水を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
汚水送水量	159,349m ³ /年	173,905m ³ /年	190,000m ³ /年
維持運転委託料	2,404,500円/年	2,394,000円/年	2,394,000円/年
電気料	573,078円/年	622,254円/年	714,676円/年

成果指標

成果指標名	汚水ポンプ稼働率
成果指標の説明	(汚水ポンプ稼働時間/年間時間) × 100

事業の進捗状況 (下水道事業特別 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		11.90%				14.00%				16.50%			
成果指標													
事業費	事業費	4,602				4,078				5,003			
	人件費	778				781				785			
	(人数)	正規	0.1	非常勤		正規	0.1	非常勤		正規	0.1	非常勤	
	合計	5,380				4,859				5,788			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	5,380				4,859				5,788			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	
経済効率性	3	3	3	3	
事務効率性	3	3	3	3	
必要性	3	3	3	3	
小計	12	12	12	12	
施策への貢献度	3	-	3	-	
合計	15	12	15	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
1、経年劣化に伴う装置のオーバーホールの予算措置について2、海陽学園開設に伴う排水量増加による送水ポンプ増設
上記改善点の実施状況
1、経年劣化に伴う装置のオーバーホールの予算措置について：現状正常なためオーバーホールの必要はないが今後は必要となる。2、海陽学園開設に伴う排水量増加による送水ポンプ増設：設置ポンプ台数で能力があるため増設の必要なし。

今後さらに改善すべき点

特になし

平成21年度予算に反映する項目

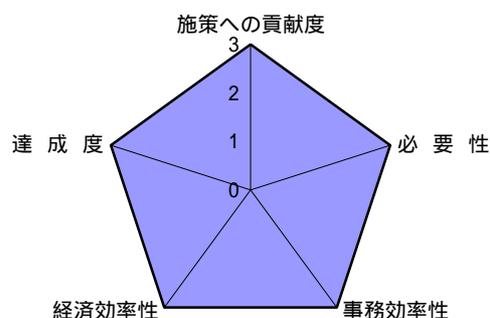
特になし

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点